

**お客様用**

## 停電発生後に EV 用パワーコンディショナが 起動できない場合の処置方法 説明書

EV 用パワーコンディショナ（以下、本製品）には、停電時に製品を起動するための蓄電池が内蔵されています。

停電が発生時に長時間自立運転を開始しないと、内蔵蓄電池が放電し、機器が使用できなくなるおそれがあります。

例) 長期間ご不在中に停電が起こり自立運転に切替ができないままご帰宅される

リモコンや本体の LED ランプが完全消灯し、運転操作ができない場合は、本書に従い処置を行ってください。

処置を行っても本製品起動できない場合は、修理(有償)が必要となります。

\* 処置内容は製品によって異なります

### 目次

|  |   |
|--|---|
| 1. EVP-SS60A シリーズ, EVP-SS60B シリーズの場合 ..... | 2 |
| 2. EVP-SS60B3 シリーズの場合 .....                | 3 |

# 1. EVP-SS60A シリーズ, EVP-SS60B シリーズの場合

## (1) 対象形名

EVP-SS60A シリーズ： EVP-SS60A-M5、EVP-SS60A-M7、EVP-SS60A-Y5、EVP-SS60A-Y7

EVP-SS60B シリーズ： EVP-SS60B-M7、EVP-SS60B-Y7、EVP-SS60B-Y7W

※シリーズ名の確認方法は、当社ホームページをご確認ください

## (2) 症状

以下の様な症状の場合、処置が必要となります。

- ① 停電が継続している状態で、リモコンや本体表示部の LED(図 1)が完全消灯し、運転操作ができない場合
- ② 住宅内が復電(通電状態)した後に、鉛蓄電池の電圧低下 (システムコード：10)のメッセージが表示されている場合 (図 2)
- ③ 住宅内が復電した後に、本体異常 (システムコード：11) のメッセージが表示されている場合 (図 3)



図 1. 本体表示部

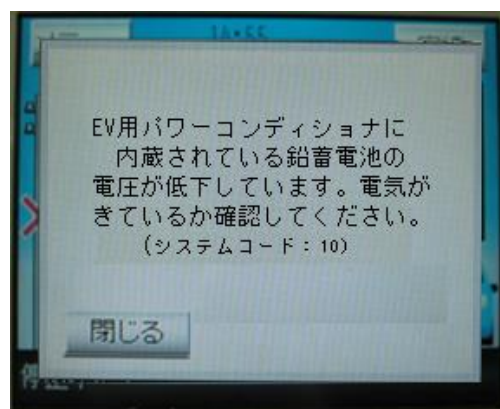


図 2. システムコード：10のリモコン表示 (EVP-SS60B シリーズの例となります)

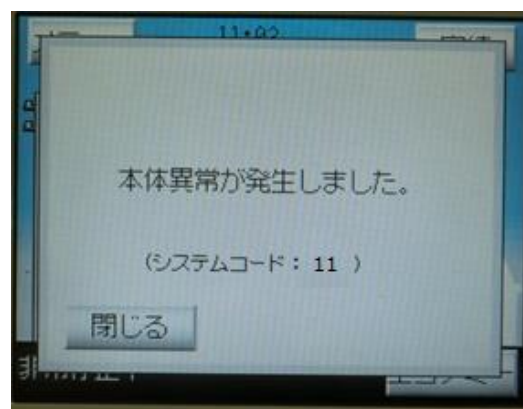


図 3. システムコード：11のリモコン表示

### メモ

・メッセージは、対象形名によって異なります。システムコードで判断してください。

## (3) 処置方法 (内蔵鉛蓄電池の充電)

- ① 住宅内が復電(通電状態)した後、EV用パワーコンディショナを商用電力に接続したまま(ブレーカを ON にしたまま)12 時間以上お待ちいただき、内蔵電池の充電を行ってください。(内蔵蓄電池へ自動的に充電が行われます。特に操作は不要です。)
- ② 12 時間以上経過後にエラー表示を閉じ、運転操作を行ってください。再起動できた場合は引き続きお使いいただけます。ただし、内蔵蓄電池が劣化している可能性があるため、通常よりもお早目の電池交換をお勧めします。(通常の電池交換の目安は約 3.5 年です)
- ③ 12 時間経過しても再起動できない場合は、内蔵蓄電池の交換修理(有償) が必要です。サービスセンターまでご連絡ください。

## 2. EVP-SS60B3 シリーズの場合

### (1) 対象形名

EVP-SS60B3 シリーズ： EVP-SS60B3-M7、EVP-SS60B3-Y7、EVP-SS60B3-Y7W

### (2) 症状

症状によって、処置方法が異なります。症状に合わせて処置を行ってください。

- ① 停電が継続している場合、本体がスリープ状態になっています。(3)項の処置方法 1 に従い、スリープを解除してください。
- ② 住宅内が復電(通電状態)した後に、以下の様な症状の場合、(4)処置方法 2 に従い内蔵蓄電池の充電をおこなってください。
  - ・蓄電池の電圧低下 (システムコード：10)のメッセージが表示されている場合 (図 4)
  - ・本体異常 (システムコード 11) のメッセージが表示されている場合 (図 5)

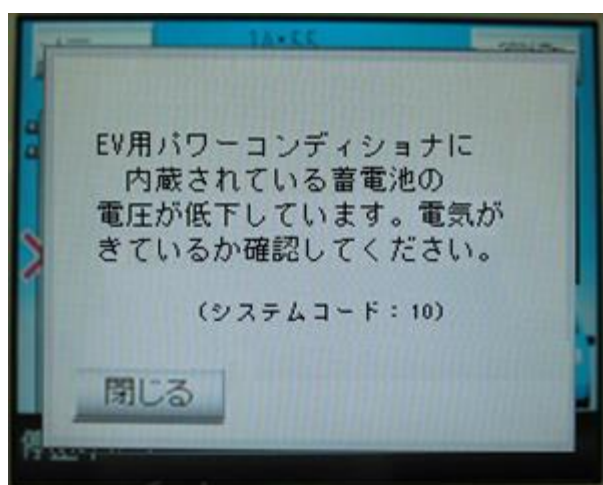


図 4. システムコード：10 のリモコン表示

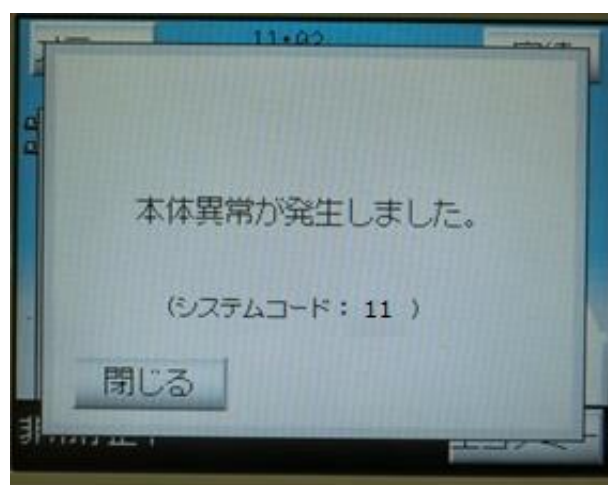


図 5. システムコード：11 のリモコン表示

### (3) 処置方法 1 (スリープ状態の解除)

- ① 本体側面の「充電開始/スリープ解除」ボタンを押してください。スリープ状態が解除され、自立運転操作が可能となります。

#### メモ

- ・停電が発生してから自立運転に切り替えるまでは、内蔵蓄電池によって制御回路が動作しています。停電が継続し、約 10 分間自立運転への切替え操作が行われない場合は、自動的にスリープ状態になり、電力消費を抑えます。
- ・スリープ状態での内蔵蓄電池の持続時間の目安は 2 日程度となります。使用環境により目安時間は異なります。
- ・停電が終わると、自動的にスリープ状態は解除されます。

### (4) 処置方法 2 (内蔵蓄電池の充電)

- ① 住宅内が復電(通電状態)した後、EV 用パワーコンディショナを商用電力に接続したまま(ブレーカを ON にしたまま)12 時間以上お待ちいただき、内蔵電池の充電を行ってください。(内蔵蓄電池へ自動的に充電が行われます。特に操作は不要です。)
- ② 12 時間以上経過後にエラー表示を閉じ、運転操作を行ってください。起動できた場合は引き続きお使いいただけます。ただし、内蔵蓄電池が劣化している可能性があるため、交換をお勧めします。
- ③ 12 時間経過しても復帰しない場合は、内蔵蓄電池の交換修理(有償) が必要です。サービスセンターまでご連絡ください。

# 三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地